

令和5年

第1回新温泉町教育委員会会議議事録

(令和5年1月19日開催)

新温泉町教育委員会

令和5年第1回新温泉町教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年1月19日（木）午後2時45分～午後4時23分
- 2 場 所 サンシーホール浜坂 研修室
- 3 出席者 西村教育長
(委 員) 宮口教育長職務代理者 阪本教育委員
欠席) 山本教育委員 村尾教育委員
(事務局) 中島こども教育課長 谷渕生涯教育課長、樹岡こども教育課参事
吉田こども教育課長補佐兼教育総務係長
- 4 会議録署名委員 宮口教育長職務代理者 阪本教育委員
- 5 傍聴者 0人
- 6 議 事
日程第1 会期の決定
日程第2 会議録署名委員の指名
日程第3 教育長報告及び所管事務報告
日程第4 報告第1号 校区外就学の協議に関する専決処分について
日程第5 議案第1号 新温泉町中高連携方針検討委員会設置要綱の制定について
日程第6 次回新温泉町教育委員会日程について

開会 午後2時45分

- 西村教育長 只今より令和5年第1回新温泉町教育委員会を始めさせていただきます。
本日は、教育委員2名が欠席ということですが、過半数に達しておりますので会議は成立しております。
改めまして、こんにちは。先日の総合教育会議に続きまして、また本日もお忙しい中、教育委員会にご出席いただきありがとうございます。3学期がスタートしまして8日ほど経ちました。3学期といえはまとめの学期であり、また、来年度へのスタートということでゼロ学期とも言われます。教育委員会としましても教育行政のまとめをしっかりと、また来年度に向けてしっかりスタートを切っていく準備をしていきたいと思っております。
本日も教育委員の皆様のご意見をいただきながら、新温泉町の教育にいろいろと生かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、日程第1の会期の決定についてです。本日の午後5時までの1日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。（「はい」の返事有り）異議なしということで進めさせていただきます。次に日程第2の会議録署名委員の指名ですが、宮口教育長職務代理者と阪本委員にお願いいたします。それでは、日程第3 教育長報告及び所管事務報告に進めさせていただきます。先ず私のほうから教育長報告をさせていただきます。（別紙「教育長報告」及び議事日程資料1ページを説明）

○西村教育長 以上で報告を終わります。ここまでの報告でご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。では、所管事務報告に移ります。最初にかども教育課の報告をお願いします。

○中島課長 （議事日程資料1～7ページを説明）

○西村教育長 こども教育課の所管事務報告について説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。宮口教育長職務代理者、どうぞお願いします。

○宮口教育長職務代理者 不登校で、浜中の生徒が増加していて、恐らくここには上がっていないけど不登校傾向にある生徒もいるだろうと思うんです。そうした状況で適応指導教室の利用がずっと中学生2名ですね。学校にもなかなか行けない、適応教室にも足を運べないということが、学校と適応指導教室とが情報交換はされているんだろうとは思いますが、それが功を奏してないように感じるんですね。不登校が増えているのは、新温泉町だけの問題ではない、全国的な問題って言うことも言えるけれども、これ以降、1月、2月になったときに、どう変化してくるのか。特に3年生の場合には進学の問題が絡んできますんで。何とか減っていけばいいけれどもね、増えていくっていうのがすごく危機感を感じますね。

○西村教育長 中島課長。

○中島課長 今月増えている児童生徒の状況ですが、別室登校をしながら、欠席日数の累積で30日を超えて人数が増えている状況で、その方々がこの段階で適応指導教室に通うということにはなかなかならないのかなと考えています。

○西村教育長 樹岡参事。

○樹岡参事 こうした状況に対して、教育委員会事務局としましても危機感を持っているところであります。子どもたちの状況は個人個人が違っておまして、中には学校には不登校傾向ではあるんだけど、少しずつ行けているので適応指導教室はいって子どももいます。ただ、適応指導教室と学校とはかなり連携を密にしながら、子どもたちの状況を踏まえて、できるだけきめ細やかな対応が取れるよう

にはさせていただいているところでもあります。ただ、適応指導教室と学校に行き始める間のもう少し細やかなステップがあればいいというのは、担当の指導員とともに話をしているところです。具体的に申しますと、現在行っている適応指導教室に当たるようなものが学校の中に設置されたら、またそこには通いやすくなるような子どもも出てくるのかなど。全国的にもそういう取組をしているところもありますので、我々として何ができるか検討していきたいと思います。また、適応指導教室が浜坂地域にしかないもので、夢が丘中の生徒にとってはちょっと通いにくいというのは現実にはございます。あと、受験生のことについてもご意見をいただきました。やはり子どもたちにとりましては、進路ってというのは重要になりますので、2学期の個別懇談会の様子であったり、子どもたちの意向を担当の指導主事がきめ細やかに情報を収集し、我々も共有を図っているところでもあります。また、3学期が始まったときに登校状態がどうか、今後入試も始まりますので、その辺りがどうなっているかっていうのも、情報を共有しながら対応しているところでもあります。

○西村教育長 宮口教育長職務代理者。

○宮口教育長職務代理者 この不登校っていろいろな要素があるんだけど、大きく分けて、例えば学力不振とか、あるいは友達関係とか、あるいは家庭の問題とか、そういうことで行けなくなるっていうことが多いとおもうんですが、特に中学生ではどういう状況が多いんでしょうか。

○西村教育長 樹岡参事。

○樹岡参事 いろいろな要因が複合的に関わっているっていうのが多いと思います。無気力でありながら学校になかなか足が運ばなくなって、勉強もなかなか分かりにくくなって、結果的には欠席の日数が重なっていくであったり、頭が痛くて少し学校に通えなかった、勉強がちょっとついて行けなくなった、そういうような要因が重なって、結果的には欠席日数が増えていくとか、本当にいろいろな要因が重なり合っってっていうお子さんが多いと認識しています。

○宮口教育長職務代理者 私が経験している中では、仲のいい友達とか、担任の先生とかが訪問して、その時は元気なんだけど、プリントを見ると今の自分ではとっても分からないってなって、プレッシャーを感じて、朝になると頭が痛くなって学校に行けなくなるっていう事例もあったんで、その辺は今、学校では十分気をつけて対応していると思うんだけど、何とか支えになれるような人間関係、友達関

係を築くことが大事かなとは思いますが。こうして見ると、幼・小・中の連携の中で共通理解を持って当たっていく、情報をしっかりとつないでいくっていうことが大事かなと思います。

○西村教育長 ありがとうございます。幼・小・中連携の関係で、生活習慣はすごく大事で、睡眠の大切さっていうことで今年度は取り組んでいるんですけど、睡眠調査をしたり、それから、早寝・早起き・朝ごはんが合い言葉のようになっているんですけども、その大事さっていうのは、子どもの基本的な生活習慣をつくることでリズムができたりするので、それは小さいときから継続して取り組んでいくっていうことが不登校の対策としてすごく大事になると思っています。情報をお互いに交換はしていますけれども、本当に多様な子どもたちが増えている中で、この数字を見ると本当に苦しいですし、悩みながら対応しているところです。保護者の方も当然悩まれていると思いますが、これが原因だっということとはなかなか言えなくて、本人も分からないというのが不登校のしんどさだと思いますので、教育委員会としては学校がいろんな工夫をしながらやっていることを応援しながら、教育委員会としてできる手だてをしっかりと取っていきたいと思っています。本当に増えていることは事実としてありますので、1人でも1日でも学校に通えるように対応していきたいと思っています。阪本委員。

○阪本委員 保護者の方が1人で悩むようなことがないように、学校からも何でも悩み相談を受け付けますよっていうようなお手紙を割と短い間隔で頂いているんで、これがしっかり届いていたらいいなっていう思いで見させてもらっているんですけど、実際に先生方とそういうつながりがずっと持てているのかなっていうのが気になっていました。

○西村教育長 樹岡参事。

○樹岡参事 保護者の不安を少しでも軽減させたいというのは、事務局としても同じ思いを持たせていただいております。もちろん学校がしっかり相談窓口を発信していくっていうこともありますし、保護者の力になりたいっていう中には、例えば社会福祉協議会が不登校のお子さんをお持ちの保護者が集まって話を共有できる場を持っていますし、教育委員会の中でも以前ありましたけども、やはりSNSなんかの情報発信、これも近年は重要になってきていますんで、来年度はそういうものが保護者に届きやすいような工夫を考えていきたいと思っています。

○西村教育長 学校にスクールカウンセラーはいるんですけども、相談をするという

ところの一步を踏み出す勇気が気になっていまして、そこでの担任なり養護教諭なり誰でもいいので声かけをして、何とかそういう機会につながってということも一つ学校のほうではあると思いますし、いろんな手だてをしていく必要があると思っています。

○宮口教育長職務代理者 高校との連携の関係なんですが、私が現役の時に言っていたのが、中学校卒業したら終わりではない、高校卒業するまでは中学校にも責任がある。それが中高連携だと私は思っているんです。そのために中高連絡会をうまく使って、情報を共有して、そうすることで本人理解、人間関係が分かることがある。そういうことが大事になってくると感じます。中学校は高校まで、高校はその先の進学や就職まで、そのつながりをより一層大事にしていかなければいけないかなと思います。

○西村教育長 中高連絡会を校長同士で今持っているんですけど、それが日常的に、気になることがあったらこれどうだったかなって聞き合える関係性がとっても大事だと思います。おっしゃるとおりだと思いますし、小・中では生徒指導の連絡会の中で本当につながりができてきておりまして、本当に卒業したら終わりじゃなくて、気になっていた子どもの中学校での様子を聞いたりだとか、逆に小学校当時の様子をきいたりだとか、そんな感じの交流会を持っていますが、日常的な深いつながりができるっていうことが大事だなとお話を聞きながら感じました。阪本委員。

○阪本委員 高校に進学した後の生徒の情報は出身中学には入ってくることはあるんですか。例えば、中学生で進路を決めるときに、町外の高校で進学を目指すコースを希望して進学して、自分では一生懸命しているつもりだけでも、挫折するっていうケースを聞くんで、入ってみないと分からないと思うんですが、中学校で進路指導するに当たって、この程度の頑張りが必要だよっていうことを指導してほしいなど。高校に入ったら自分の責任なんだとは思いますが、状況を把握した上である程度の指導をしていただくことは必要かなと最近感じています。

○西村教育長 中学校の進路指導ですけれども、入れるだけを見て先生方は進路指導を絶対してないので、だから、その子が将来的にどういう道に行くかっていうことは、そこは丁寧に丁寧に保護者も含めて話をしながら進路指導はしていると思っています。ただ、入って各学校から情報が入ってくるかということについては、入りやすい学校もあれば入ってきにくい学校もあるかなとは思っています。なので、浜坂高校とは今連絡会を持っていますが、ほかの高校に進学された生徒のことについて、

中学校として気になることは連絡することもできると思いますので、そういった意識をしっかりと持ってもらうよう話をしていきたいなどは思っています。ほかはよろしいでしょうか。よろしければ生涯教育課の所管事務報告をお願いします。

○谷渕課長 （議事日程資料 8～20 ページを説明）

○西村教育長 生涯教育課の所管事務報告について説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。宮口教育長職務代理者。

○宮口教育長職務代理者 文化祭の関係で、浜坂会場では例年に比べて支援を要する方たちの作品が多かったように感じたんですが、そうした取り組みをされたんでしょうか。それともう1点、文化協会の会長さんと話をする機会があったんですが、文化祭を実施するにあたって、文化協会と町との関係がうまくかみ合っていないような感じのことを言われてたんですが、どうだったんでしょうか。

○西村教育長 谷渕課長。

○谷渕課長 作品につきましては、浜坂会場の出品点数は604点で、去年は512点ということで、介護施設などからの展示がかなり増えている状況があります。逆に、温泉会場はちょっと減りまして、去年の672点から486点となっています。特に力を入れてこの部分を強化しようということにはなかったと思っておりますが、幅広く声かけを行ったというところ、結果的にこの604点になったと思っております。文化祭の開催に当たりましては、実行委員の皆さんに何回も協議をさせていただいて、舞台発表は舞台発表だけということで、温泉、浜坂それぞれの代表の方に集まっていたいただいて別に何回か協議をさせていただいて、学校の校長先生や公民館長、それから文化協会の方、いろんな方に協力していただいているところですが、毎年メンバーが替わりますので、継続的に前回の反省を踏まえて実施するためには事務局が提案していく必要があると考えています。今回も去年の反省を踏まえた上で提案をさせていただいたんですけども、今、意見をいただいたようにやりにくい面があったっていうのは聞いておりますので、次回に向けて担当とも引き続き協議をしてやりやすい形で詰めていきたいと考えております。

○西村教育長 宮口教育長職務代理者、お願いします。

○宮口教育長職務代理者 担当の職員と文化協会の委員とが総合的にかみ合った話をしていかないとよくないなど。展示に関しても、今年はこのテーマを持っていくっていうようなことがあれば、もっと展示内容も変わってくるんじゃないかなと思ったり、そういうものがあれば同じ文化祭をしても、今年はどうなるんだろう

なって興味、関心を持ってもらえるんじゃないかなと思います。

○西村教育長 谷渕課長。

○谷渕課長 今、いいご提案をいただきました。本当にテーマは大事だと思いますので、単なる展示ではなくて、目的意識を持って進めていきたいと思います。また、文化祭は町が一方的に進めるものではないと思っております。いろんな意見を聞いて、みんなでつくり上げるのが文化祭だと思っておりますので、皆さんの意見を聞きながら、いい文化祭をつくり上げていきたいと思います。

○西村教育長 参加していただいた方とか委員の皆さんが気持ちよくできないと、やってよかったという文化祭にはならないと思いますし、支援を要する方の作品を数多く施設から出展いただいたということは非常にありがたいことだと私は思っていますので、そういった形で文化祭がいい機会になったらいいなと、自分を表現できるものになったらいいなと思いますので、また来年度に向けて今のご意見を受け止めさせていただいていきたいと思います。阪本委員。

○阪本委員 二十歳のつどいが今年もできてよかったなと思っております。以前に浜高で18歳の人に向けての勉強会みたいなのがあったと思うんですが、あれは浜高独自でされていましたが、教育委員会から18歳の方に向けて何かされているんでしょうか。

○西村教育長 樹岡参事。

○樹岡参事 民法改正によって、成人の年齢が引下げになったということに関しては、やはり10代の児童生徒にとっても重要なことですので、それに関するパンフレット等については教育委員会から配付しております。ただ、浜坂高校での取組について町教委からこういう授業はどうですかというような提案は実際のところはないです。浜坂高校、県立高校でありますので、その辺りは高校独自の取組としてお任せしているというところが現状です。

○西村教育長 谷渕課長。

○谷渕課長 あと、従来から消費者センターの職員が出前講座をしております。やはり契約関係が一番心配される場所なので、その話は毎年しております。

○西村教育長 ほかはよろしいでしょうか。よろしければ、次に日程第4 報告第1号 校区外就学の協議に関する専決処分について を事務局より説明いたします。

○吉田課長補佐 (議事日程資料 21～22ページを説明)

○西村教育長 説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いいたします。よろし

いでしょうか。よろしければ、次に日程第5 議案第1号 新温泉町中高連携方針検討委員会設置要綱の制定について を事務局より説明いたします。

○吉田課長補佐 (議事日程資料 23～26ページを説明)

○西村教育長 説明が終わりました。ご質問ご意見がございましたらお願いいたします。

宮口教育長職務代理者、どうぞ。

○宮口教育長職務代理者 これ、附則の2に方針を教育委員会に報告した日限りその効力って書いてありますが、それは出た段階で終わりっていうことで、例えば出なかつたら3年ぐらい引き続いていくっていうことですか。

○西村教育長 事務局。

○吉田課長補佐 方針は令和5年度に出していただきたいという思いで進めたいと考えております。ただ方針が出たから終わりではなく、この会としてはその方針を出すことを目的に設置をさせていただくんですが、学校の連携であるとか、地域の連携であるとか、教育委員会との関わりであるとか、そういったところは引き続き出てまいります。そこは、例えばコミスクが各学校に設置されます。浜高につきましても兵庫型コミスクということで、来年度、コミスクを設置していただくということで協議を進めておりまして、各学校にコミスクができる中で、この委員会の出した方針に基づいてコミスクの連携を図りながら、町全体で教育の在り方、地域を含めて新温泉町の教育をどうしていくのかということを実践していくという思いで計画させていただいています。

○西村教育長 宮口教育長職務代理者。

○宮口教育長職務代理者 先ほど説明の中に町外からの入学も視野にっていうことがありました。町がそういう方針を出したとしても、県が認めないとできないと思うんですけども。

○西村教育長 吉田課長補佐。

○吉田課長補佐 少子化の現状を考えますと、3年後には中学校の卒業生が100人を切ってくる状況があつて、今の浜高の定員80人に対して、どれだけ入学生を確保できるかっていう現実が出てまいります。そうした状況では、町外からも生徒を集めるしかないんです。一方で、ご指摘のように、入試制度っていうことが課題になってくる。そこの部分に対する一つの考え方、候補として連携型中高一貫教育校への移行が挙げられます。この制度では、既存の中学校、高校をそのまま残し、連携を図ることになります。受験においては、連携している中学校である浜坂中、夢

が丘中から定員の3/4である60人の枠が連携校として割り当てられます。そこで生徒が選抜されて、残りの枠については町内を含め県下全域から応募ができるようになるんです。そういった中で、浜高の魅力を積極的に出して行って、町外からも入ってもらえるような取り組みも必要になると考えています。

○宮口教育長職務代理者　そういう制度に移行することはハードルが高いんじゃないですか。県との調整が。

○吉田課長補佐　この連携型中高一貫教育校は、浜坂高校存続のための一つの手法として県教委も考えていただいています。ただ、これは行政が一方的に進められることではないので、一貫校のメリット、デメリットをつまびらかにしていく中で、検討委員会で移行したほうがいいのか、そうではないのか、そういったこともしっかりと議論をしていただく必要があると思っています。あくまでこの制度は選択肢の一つであり、例えば町長は、鳥取に門戸を開いたらどうだということを言われていて、そのことも県教委にはつないでおります。あと、村岡高校が全国募集していますが、そういう選択肢もある。検討委員会では、いろんな選択肢、いろんな可能性を議論していただく必要があると考えています。また、浜高の魅力づくりに関して、地域との連携、中高の連携や小学校を含めた連携、こども園からの一貫した教育の在り方、そういった方向での検討もこの中では必要になってくると思います。町としてどういう教育を進めていくのかっていうことをこの検討委員会で議論していただいて浜高の魅力づくりにつなげていく。そうして地元の子どもが行きたいと思えるような魅力ある高校になれば町外からも来ていただける、そういった視点も持ちながら協議を進めていきたいと思っています。

○宮口教育長職務代理者　かなり大きな問題ですからね。分かりました。

○西村教育長　ほかはよろしいでしょうか。それでは採決をさせていただきます。議案第1号　新温泉町中高連携方針検討委員会設置要綱の制定について　原案どおり採択することにご異議ございませんか。（委員全員「異議なし」）原案通り可決いたしました。ありがとうございます。それでは、次に日程第6　その他　次回新温泉町教育委員会日程について事務局よりお願いします。

○吉田課長補佐　次回は2月20日（月）午後1時45分開始で、会場はサンシーホール浜坂でお願いしたいと思います。

○西村教育長　ご予定はいかがでしょうか。（委員全員了解）それでは次回は2月20日（月）午後1時45分開始、会場はサンシーホール浜坂でお願いします。それ

では、閉会の挨拶宮口教育長職務代理者をお願いいたします。

○宮口教育長職務代理者 今日、村尾委員、山本委員が欠席ということで、ちょっと寂しい委員会になりました。学校では3学期ということで、今年度のまとめや次年度に向けての準備、進学等で大変な時期と思いますけれども、そういう中でもコロナが蔓延しないように、何とか無事この1年が乗り切れますように頑張ってもらいたいと思います。そのためには事務局と連絡を密に取りながらやっていく必要があると思います。本当に今日はご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉会 午後4時23分
